

## 貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>&lt;資産の部&gt;</b>		<b>&lt;負債の部&gt;</b>	
<b>流動資産</b>	<b>401,855</b>	<b>流動負債</b>	<b>299,509</b>
現金及び預金	304,368	買掛金	34,767
売掛金	12,517	1年以内返済予定の長期借入金	23,600
未収入金	38,691	未払金	86,733
商 品	35,323	未払費用	24,733
貯 蔵 品	1,592	未払法人税等	47,889
前払費用	926	前受家賃	54,481
繰延税金資産	7,508	預り金	20,007
未収消費税等	926	賞与引当金	7,296
<b>固定資産</b>	<b>2,621,627</b>	<b>固定負債</b>	<b>189,716</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,580,973</b>	長期借入金	10,600
建 物	1,786,000	預り敷金	56,869
建物付属設備	415,588	退職給付引当金	122,246
構築物	106,705	<b>負債合計</b>	<b>489,225</b>
車両運搬具	103,445		
工具器具備品	95,976	<b>&lt;純資産の部&gt;</b>	
建設仮勘定	73,256	<b>株主資本</b>	<b>2,534,257</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>3,299</b>	<b>資本金</b>	<b>1,500,000</b>
電話加入権	351	<b>利益剰余金</b>	<b>1,035,465</b>
ソフトウェア	2,948	その他利益剰余金	1,035,465
<b>投資その他の資産</b>	<b>37,354</b>	繰越利益剰余金	1,035,465
繰延税金資産	37,341	<b>自己株式</b>	<b>△1,208</b>
リサイクル預託金	13	<b>純資産合計</b>	<b>2,534,257</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,023,482</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>3,023,482</b>

## 損 益 計 算 書

〔平成29年4月 1日から〕  
〔平成30年3月31日まで〕

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	1,267,281
家賃収入	589,818
商品売上高	521,173
施設利用収入	63,189
広告収入	72,560
受取手数料	20,538
売 上 原 価	363,957
売 上 総 利 益	903,324
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	690,990
営 業 利 益	212,334
営 業 外 収 益	1,949
受取利息	51
雑収入	1,898
営 業 外 費 用	481
支払利息	481
経 常 利 益	213,801
特 別 利 益	26,500
補助金収入	26,500
特 別 損 失	30,751
固定資産除却損	4,251
固定資産圧縮損	26,499
税 引 前 当 期 純 利 益	209,549
法人税、住民税及び事業税	70,582
法人税等調整額	△4,549
当 期 純 利 益	143,517

## 個別注記表

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### 2. 重要な会計方針に係る事項

#### (1)資産の評価基準および評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

商 品・・・・・・・・ 先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法によって算出）

貯蔵品・・・・・・・・ 最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法によって算出）

#### (2)固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産・・・ 定額法によっております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

②無形固定資産・・・ 定額法によっております。なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

#### (3)引当金の計上基準

①賞与引当金・・・・・・・・ 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

②退職給付引当金・・・ 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

#### (4)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

### 3. 貸借対照表に関する注記

(1)有形固定資産の減価償却累計額 5,045,391千円

(2)関係会社に対する金銭債権または金銭債務の金額

親会社に対する短期金銭債権 86千円

### 4. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

親会社との取引高 営業取引 6,832千円

#### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前事業年度末 株式数(株)	当事業年度 増加株式数(株)	当事業年度 減少株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	30,000	—	—	30,000
合 計	30,000	—	—	30,000
自己株式				—
普通株式	0.33	21.67*	—	22*
合 計	0.33	21.67*	—	22*

(\*) 自己株式の増加は、端株の買取りによる増加であります。

#### 5. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

	当事業年度 (平成30年3月31日現在) (単位:千円)
(繰延税金資産)	
退職給付引当金	36,673
賞与引当金	2,188
未払事業税	3,167
一括償却資産	1,515
未払事業所税	973
その他	331
繰延税金資産合計	<u>44,849</u>

#### 6. リースにより使用する固定資産に関する注記

リース取引は、当社の事業内容に照らして重要性が乏しく、リース契約一件当たりの金額は少額であるため注記を省略しております。

## 7. 金融商品に関する注記

### (1)金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、資金調達については銀行借入による方針です。

売掛金及び未収入金に係る顧客の信用リスクは、期日管理を行い、主な取引先の信用状況を半期ごとに把握する体制としております。

短期借入金の使途は運転資金であり、長期借入金の使途は設備資金であります。支払利息の金利は固定です。

### (2)金融商品の時価等に関する事項

平成30年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額 (* 1)	時価 (* 1)	差額
現金及び預金	304,368	304,368	0
売掛金	12,517	12,517	0
未収入金	38,691	38,691	0
未収消費税等	926	926	0
買掛金	(34,767)	(34,767)	0
未払金	(86,733)	(86,733)	0
未払費用	(24,733)	(24,733)	0
未払法人税等	(47,889)	(47,889)	0
預り金	(20,007)	(20,007)	0
1年以内返済予定の 長期借入金	(23,600)	(23,451)	(149)
長期借入金	(10,600)	(10,293)	(307)

(\* 1) 負債に計上されているものについては、( )で示しています。

#### (注1) 金融商品の時価の算定方法

##### (1)現金及び預金、売掛金、未収入金、未収消費税等、買掛金、未払金、未払費用、未払法人税等及び預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

##### (2)1年以内返済予定の長期借入金及び長期借入金

元利金の合計額を、新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

	貸借対照表計上額 (千円)
預り敷金	56,869

賃貸物件における賃借人から預託されている預り敷金は、市場価格がなく、かつ、賃借人の入居から退去までの実質的な預託期間を算定することは困難であることから、合理的なキャッシュ・フローを見積ることが極めて困難と認められるため、時価開示の対象としておりません。

## 8. 賃貸等不動産に関する注記

### (1) 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社では、香川県高松市において、賃貸用の旅客ターミナルビル、附属棟及び貨物ターミナルビルを有しております。

### (2) 賃貸等不動産の時価等に関する事項

貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)
2,201,589	1,955,362

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額です。

(注2) 当期末の時価は、固定資産税評価額によっております。

## 9. 関連当事者との取引に関する注記

### (1) 法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の被所有割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)	
			役員の兼任等	事業上の関係					
親会社 (注1)	高松空港株	直接100	兼任7人	施設の賃貸等	営業取引	空港ビルの賃貸	5,473	未収入金	86
法人主要株主 (注2)	香川県	—	—	広告	営業取引	広告表示	427	未収入金	135
				資金援助	営業取引以外の取引	資金の借入	255,600	短期借入金	255,600
	ANAホールディングス株	—	—	施設の賃貸等	営業取引	空港ビルの賃貸	169,007	未収入金	11,020
						出向者の人件費	3,400	未払費用	425

上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておりません。期末残高には消費税等を含んでおります。

### 取引条件及び取引条件の決定方針

(注1) 取引金額は関連当事者となった日以降の金額を記載しております。

賃貸借料については、他の賃貸条件と同様の条件で行われることなどに留意しております。

(注2) 当社主要株主の異動により、同社は当社の関連当事者に該当しないこととなりました。

このため、取引金額については関連当事者であった期間の金額を、期末残高については関連当事者でなくなった時点の残高を記載しております。

資金の借入のうち、短期借入金については、無利子、無担保で一年以内の返済になっております。物件の償却費等を勘案した賃料を設定しております。また、国内線共用施設使用料については、旅客数連動型方式を一部導入しております。

#### 10. 資産除去債務に関する注記

当社は、国土交通省大阪航空局が管理する国有財産に関する国有財産使用許可に基づき、当社が使用する使用許可物件（土地）の返還時に、当社が所有する旅客ターミナルビル等を撤去する原状回復義務を有しております。

しかし、旅客ターミナルビル等は、公共性の高い施設であり、当社の裁量だけでは撤去の是非や時期を決定することは難しく、現時点において資産除去債務を合理的に見積ることが困難なため、資産除去債務を計上しておりません。

#### 11. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 84,537円23銭

(2) 1株当たり当期純利益 4,785円39銭

#### 12. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

#### 13. その他の注記

国庫補助金等（国、香川県及び高松市からの補助金）により取得した資産の取得原価から控除している圧縮記帳額

建物	619,220千円
建物付属設備	375,094千円
構築物	24,515千円
車両運搬具	20,999千円
工具器具備品	37,216千円